

令和2年4月2日

保護者様

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校
校長 白神 敬祐

新学期からの集団感染防止のための協力のお願いについて

平素から、本校の教育活動への御理解と御協力に厚く御礼申し上げます。

新学期からの学校の再開後に、学校において集団感染が発生し、再度、臨時休業を行うことがないように、学校においても新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組むこととしておりますが、現在の国内の感染の状況は、未だに大規模流行につながりかねない危険な状態であることを学校、生徒、家庭等がしっかりと認識し、対策を緩めることなく引き続き全力で取り組む必要があります。

ついては、お子様の健康・安全を第一に考え、次のとおり手作りマスクの作成や新学期以降の検温の徹底等について御理解と御協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策については、日々状況が変化しているため、今後の状況によっては対応を見直す場合があることを申し添えます。

記

1 マスクの着用

- ・生徒の間での飛沫による感染リスクを最小限に抑えるため、生徒はできるだけ校内でマスクを着用するようお願いします。
- ・マスクは手作りでも市販のマスクでも構いません。

2 手作りマスクの作成

- ・別添の手作りマスクの資料を参考に、可能な限り春休み中に、各ご家庭において、手作りマスクの複数枚（洗い替えができるように）の作成をお願いします。
- ・ガーゼ生地などのマスクの材料については、入手が困難な状況も考えられますので、作成にあたっては、飛沫を最小限に抑えるためになるべく布目の細かい布の利用をお願いします。

3 毎朝の健康観察の徹底等

- ・朝、登校前には必ず検温し、発熱（37.5度以上）があった場合や、咳等の風邪の症状がある場合には、登校を控え自宅で様子を見るようお願いします。
- ・登校時には、教職員が生徒の家庭での検温結果を確認するとともに、検温を忘れた生徒には必ず検温します。発熱（37.5度以上）があった場合や、登校後に発熱や咳等の風邪の症状が出た場合には、別室で待機し、保護者に連絡の上、帰宅することとなりますので、学校からの連絡やお迎え等に速やかに対応していただきますようお願いいたします。

4 部活動等の再開

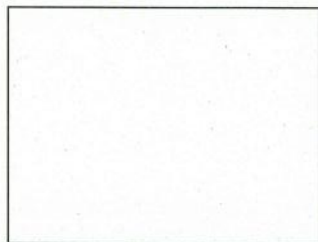
部活動については、安全への配慮を十分行った上で、4月7日（火）から再開の予定です。なお、土日等の授業のない日における部活動等（外部模試や土曜開放講座など）についても、自宅で検温した上での参加とするなど、授業日同様としますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

■手作りマスクの作り方 (平面タイプ)

【材料】

- ガーゼ生地(布目の細かい布)(約40cm×約30cm)×1枚
 - ゴムひも(約32cm)×2本
- ※ゴムひもは装着時に顔とマスクの間にすき間ができない長さにしてください。

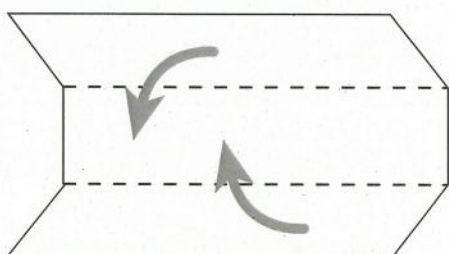
①



① 約40cm×約30cmの大きさの布を用意します。



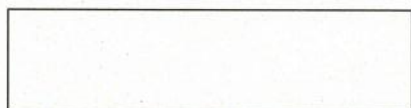
②



② 3等分の位置で上下を内側に折りたたみます。



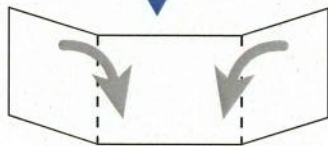
③



③ 布が3重になった細長いものができます。



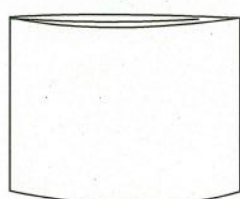
④



④ 3等分の位置で左右を内側に折りたたみます。

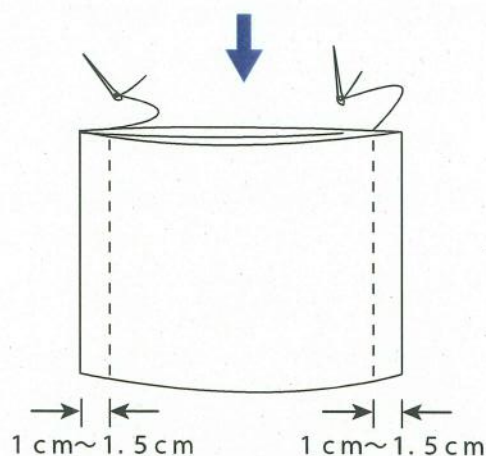


⑤



⑤ マスクの大きさのものができます。

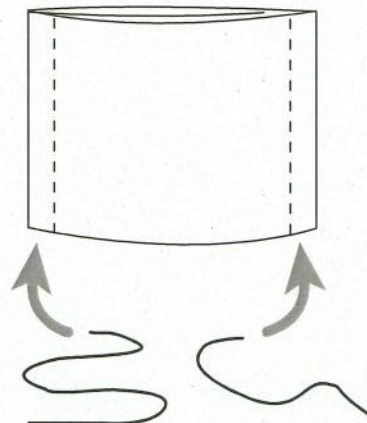
⑥



⑥ ゴムひもを通す部分を作ります。左右の1cm~1.5cm内側を縫います。

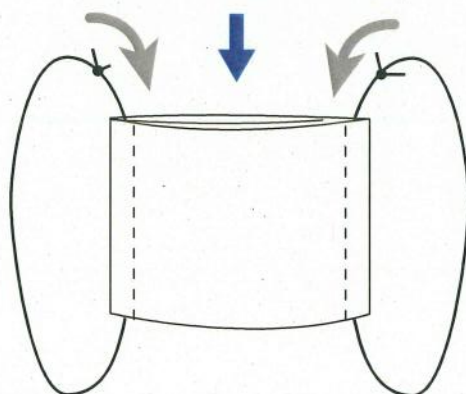


⑦



⑦ 縫い付けた部分にゴムひもを通してゴムひもの両端を結びます。

⑧



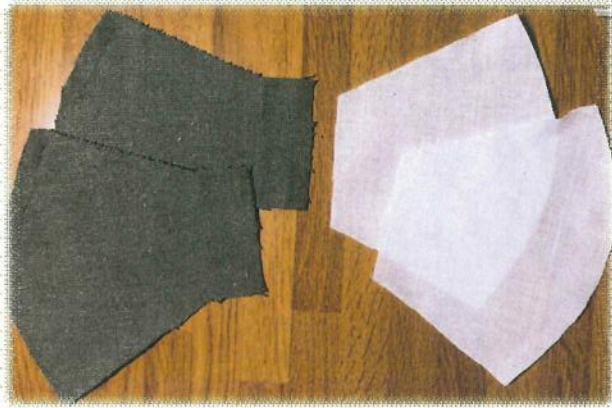
⑧ ゴムひもの結び目をマスクの中に移動させると完成です。



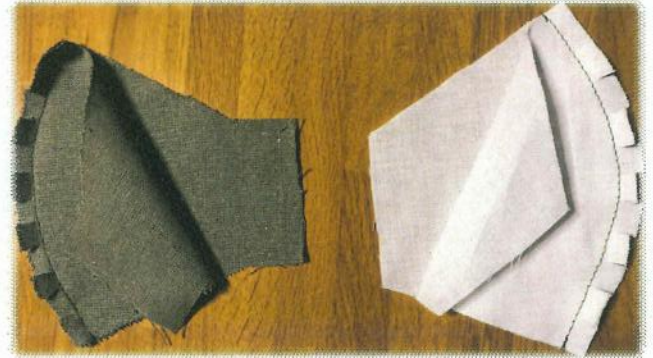
立体マスクの作り方



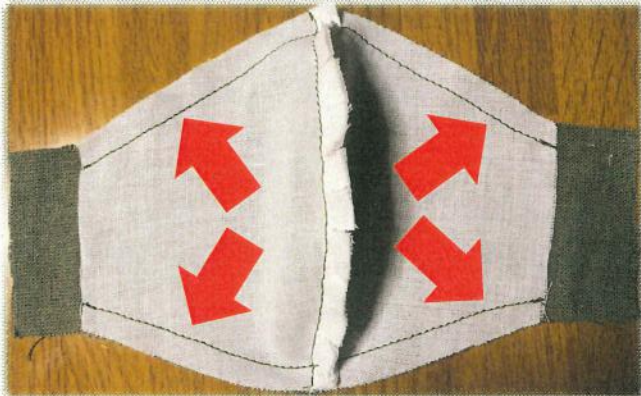
- ① 型紙にそって左右のパーツ
各2枚（合計4枚）を切る。



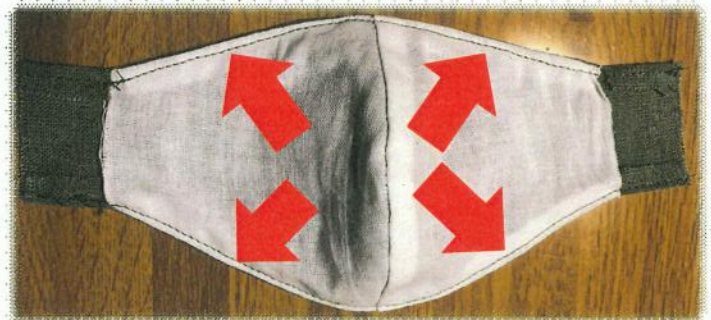
- ② 左右のパーツの中心側を縫い
合わせ、カーブに切り込み
を入れて開き形を整える。



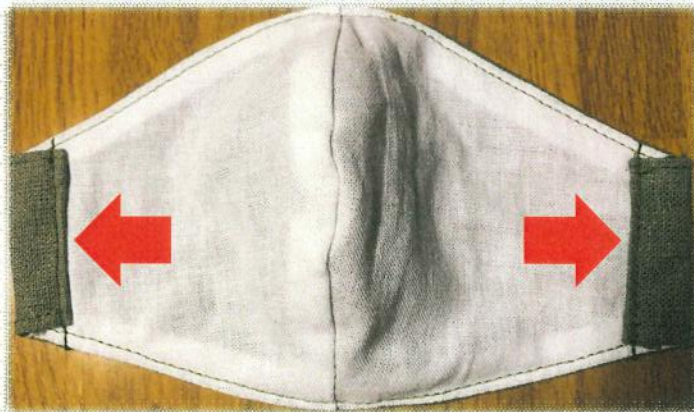
- ③ 中表に合わせて上下部を縫う。



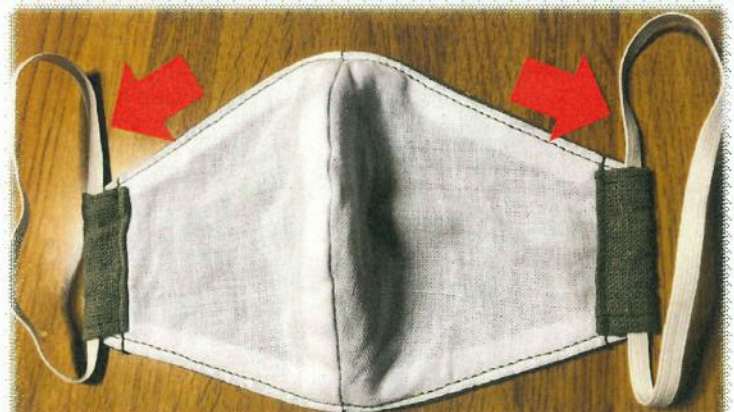
- ④ 表に返し、上下にステッチ
をかける。



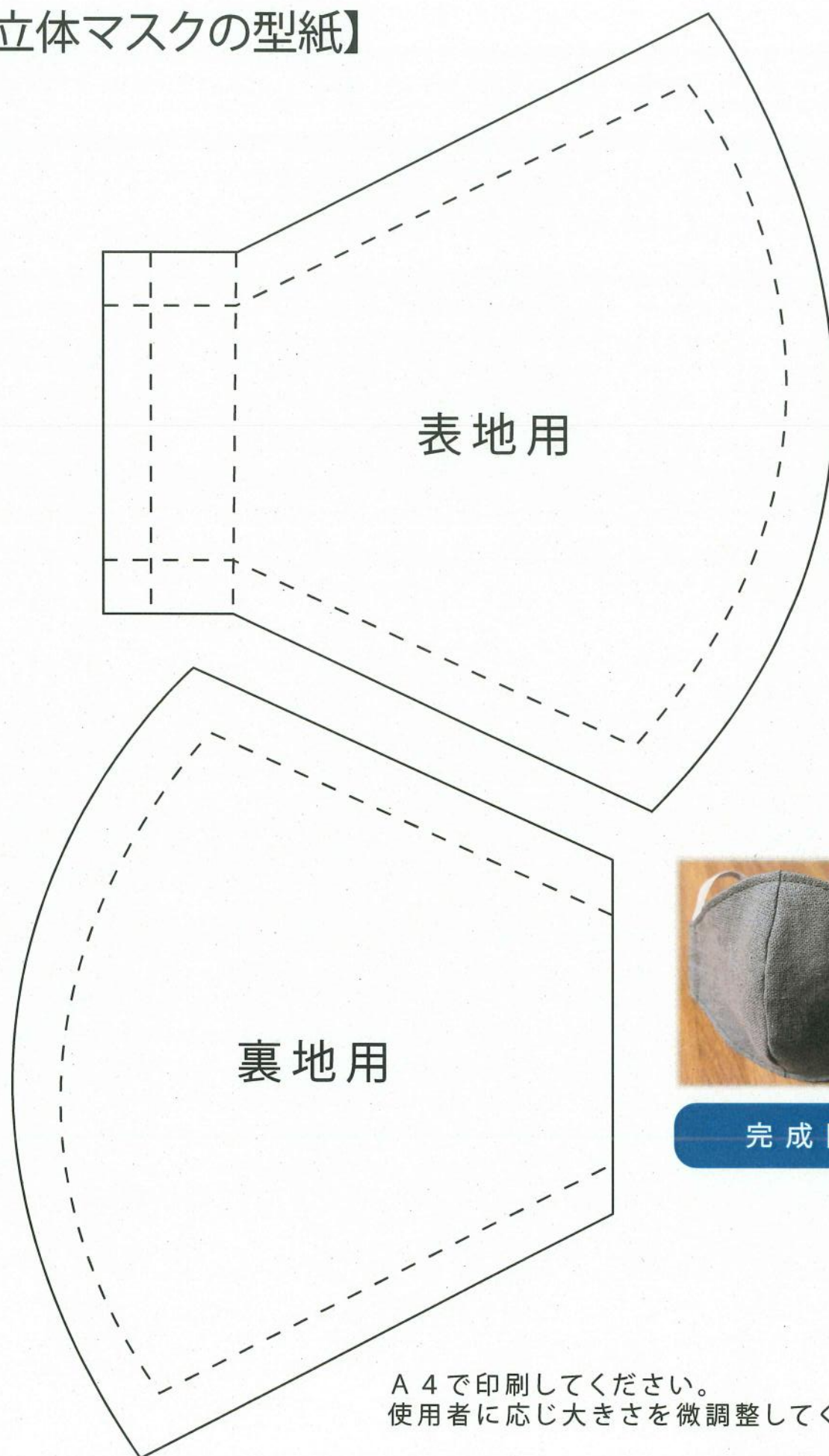
- ⑤ 表布の両端を三つ折りで内
側におりステッチをかける。



- ⑥ 長さを調節してゴムを通す。
結び目はマスクの中にしまう。



【立体マスクの型紙】



完成図

A 4 で印刷してください。
使用者に応じ大きさを微調整してください。